

令和6年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー
活動報告（1月～3月）

JSPO が、総合型地域スポーツクラブ（以下：総合型クラブ）登録・認証制度の意義を示した。国の地域スポーツ政策に位置付けられ、今後もその任を成すためという。しかし、国が唱える県や市町行政への影響や連携、評価や政策の担い手等々とは相当かけ離れているのが現状だ。クラブ側の努力不足もあるが、行政側の認識不足も否めない。また、制度そのものが確立していない中で時期早々とも言える。お互いがメリットを感じない中で、登録・認証制度だけを進めてもプラスになることはない。まずは、お互いの連携を密にし、公的な担保の下で各市町のスポーツ推進を図ることを掲げたい。現在の急激な環境変化による地域課題の解決にも、総合型クラブが担う役割は大きい。今後の行政のかじ取りが重要になりそうだ。

1月

＜令和6年度福井県総合型クラブ登録審査会＞

令和6年度福井県総合型地域スポーツクラブ登録審査会が行われた。次年度のクラブ登録に向けた審査会で25クラブ（新規2クラブ）を認定しJSPOに届けます。2クラブは登録準備クラブとしました。県総合型クラブ協議会加入は27クラブで次年度の活動をしていきます。

登録のメリットは、県補助金が少しありますが、各クラブにとって温度差は否めません。国が考える登録・認証制度の必要性を、各市町行政が認識し、総合型クラブの必要性を確立すべきです。



2月

＜第2回福井県地域スポーツ推進団体連絡会議＞

令和6年度地域スポーツ推進団体連絡会議（基盤強化事業）が行われた。今年度開催された地域ミーティングの振り返りでは、「所属や立場の違う方の意見が聞けた。」「みんなで課題を共有して改善していきたい。」と言った前向きな意見もあったが、「事業の意図が分からない。」「自分たちは何を話せばよいのか？」と言う行政側からの意見もあり、今後の反省としました。また推進団体代表各位からは、それぞれの取組状況が述べられましたが、まだまだ課題が多く、

連携の重要性や情報共有の必要性を感じました。これからの地域スポーツの基盤づくりのために、何が重要かをしっかり考えつないでいきたいと思えます。



3月

<部活動の地域展開>

各市町が部活動の地域展開（前：地域移行）に躍起になっています。令和7年度を目途に、土日の部活動がなくなるのは確かです。発端は、教員の働き方改革から始まった部活動改革ですが、その任を地域指導者が成すというのも可笑しな話ではあります。その意味では、中途半端な発言でなく、土日の部活は廃止なのです。地域活動の中で、子ども達を育つ環境をどのようにしてくれるかが求められています。様々な課題が生じるとは思いますが、1つずつ前に進んで欲しいと思えます。本来は、県内の総合型クラブがその任を担えるとよいのですが、中学校とのつながりは薄い現実では難しいようです。今後、クラブ経営の一案として検討することを期待します。

その他、県内の様々なスポーツイベントに訪問し、総合型クラブの周知活動をしました。

<越前市障がい者スポーツクラブ研修会>

- 1月22日（水）K&N サンドームホテル
内容：「精神臨床におけるパラスポーツの可能性」



<パラスポーツ体験会>

- 2月16日（日）小浜市総合福祉センター（サン・サンホーム小浜）
内容：卓球バレー・ボッチャなど

